

令和5年3月

関係各位

宮城県立古川支援学校
校長 服 部 克 弘

学校評価のためのアンケートについて

日頃より、本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「令和4年度学校評価のためのアンケート」の結果を下記のようにまとめましたのでお知らせいたします。

今後も全職員で、本校の教育目標「児童生徒一人一人の特性や発達段階に合わせた教育を行い、自立や社会参加をめざして、人との関わりを大切にしながら、健康で心豊かな児童生徒を育成する」に向けて、児童生徒のために力を合わせてまいりますので、変わらぬ御理解と御支援をお願いいたします。

本校の学校教育目標

児童生徒一人一人の特性や発達段階に合わせた教育を行い、自立や社会参加をめざして、人との関わりを大切にしながら、健康で心豊かな児童生徒を育成する。

具体目標(目指す児童生徒像)

- 自ら学び自ら行動する児童生徒 (知「確かな学力」の育成)
- 仲良く助け合う児童生徒 (徳「豊かな心」の育成)
- 明るくたくましい児童生徒 (体「健やかな体」の育成)
- 自分らしく成長していく児童生徒 (自立「自立する力」の育成)

1 アンケート項目及び回収率

本校の「本年度の努力点」に沿った形で質問項目を設定しています。質問項目は、昨年度より一問増やして教職員アンケート24問と自由記述欄、保護者アンケート15問と自由記述欄としました。ICT (Information and Communication Technology)教育についての設問を増やしました。

保護者アンケートの回収率は約81%(158名/195名)でした(厳密に1家庭1解答としたので昨年度より回答率としては下がりました)。

2 アンケートの結果について

アンケートの結果から、全体的に令和4年度の学校教育目標に向けての取組はおおよそ達成できたと考えます。

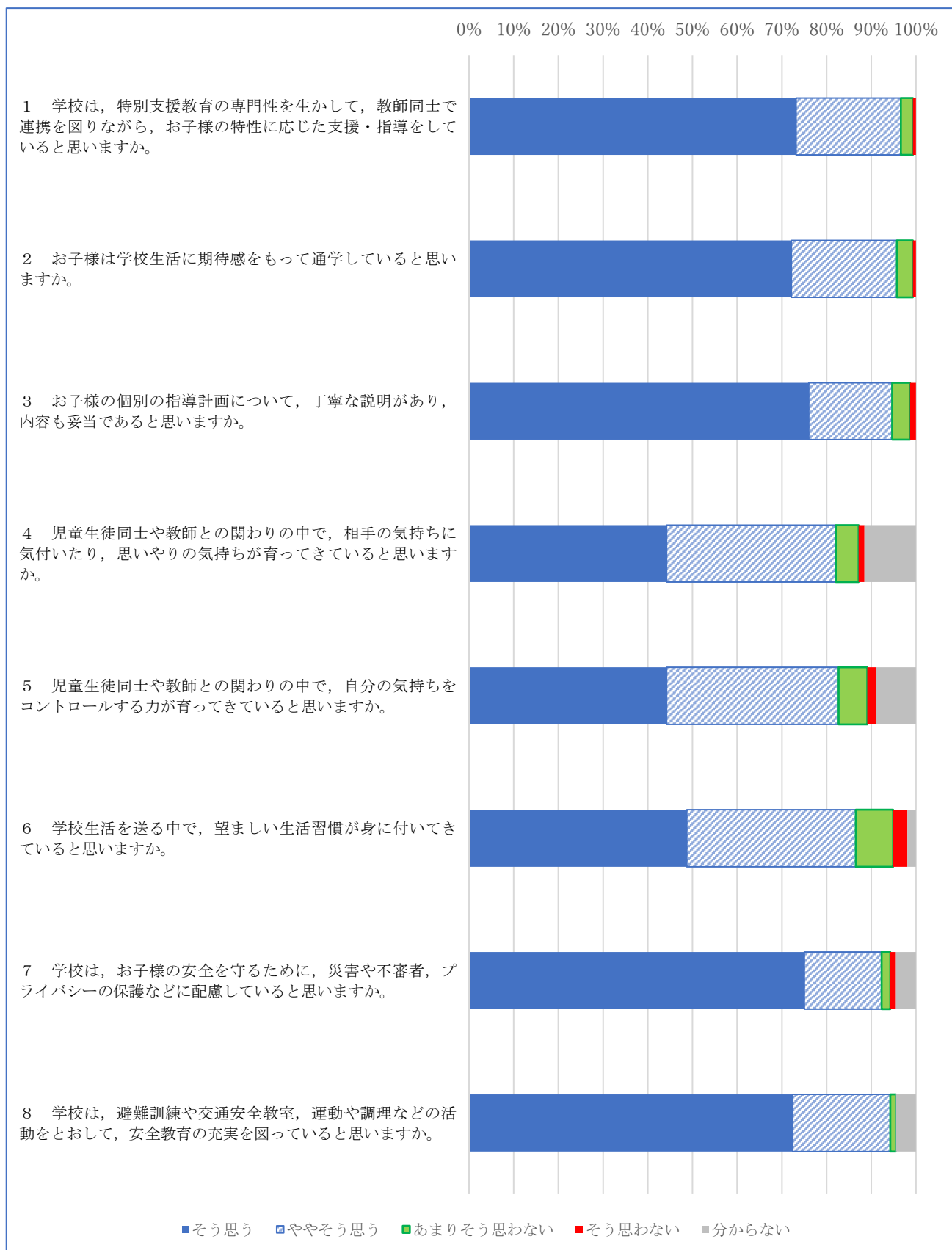
特に、防災・安全の項目で「そう思う」「ややそう思う」の割合が高くなりました。これは昨年度の学校反省から、不審者対策として来校の際のネームプレートの使用等の周知と確認を強化してきたこと、また、本校の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応について評価されたものではないかと考えております。

一方で、生活習慣、施設・設備面に関する内容が、他の質問項目と比べると少し低い結果となりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、調理実習、歯磨き指導など、教育活動への制限があることが要因の一つではないかと思えます。施設・設備面については、今年度、本校では浴室を第2ケアルームとして改修するなど取組を進めてきました。しかしながら、教室やプレイルームの不足、図書室がないなど、教育環境の充実にはまだまだ厳しい状況です。児童生徒の安全な教育活動を第一とし、取り組んでいきたいと思えます。

担当
主幹教諭：木村 毅
TEL：0229-26-2338

(別紙1)

学校評価のための保護者アンケート(1～8) 1/2



(別紙2)

学校評価のための保護者アンケート(9～15) 2/2

